

獣医神経病学会基礎講習プログラム

獣医神経病学会では2015年度より、神経病学初学者向けの基礎講習を開始いたします。CTやMRIの普及に伴って、一般臨床医にとっても神経疾患が身近な診療科目になってきておりますが、神経病に対する苦手意識や神経病学の基礎知識が不足していることで、適切な診療行為が行えなかったり、オーナーに説明できなかったり（さらには不信感を抱かれるようになってきたり）することが多いようです。また適切に二次診療施設へ紹介したり、二次診療施設からの説明や指示を理解したり実施するにも、神経病学の基本的知識が必要になります。一方で、現在の獣医神経病学会での講演や演題は、比較的難しい題材が取り扱われるようになってきており、一部の新入会者や神経病をこれから学ぼうという初学者にとっては難解なことも少なくありません。このような背景の下、獣医神経病学会では初学者への教育と学会全体の底上げを目的とし、3年間（全20回を予定）で神経病の全体を網羅するような基礎講習プログラムを計画しました。初学者は勿論のこと、神経病に苦手意識のある方、もう一度基礎から神経病学を再学習しようと思われる先生は是非ご参加下さい。

＊なお、本プログラムは認定医あるいは専門医を取得するための講習会ではありませんが、全回受講により基礎講習修了書を発行し、本会ホームページ上に修了者氏名を掲載します（毎回受講証明印を捺印していきます）

主催：獣医神経病学会（基礎講習プログラム委員会）

講師：獣医神経病学会評議員の若手を中心に適宜決定される。

対象：神経病学初学者

＊聴講には本学会員である必要はないが、学会併催時には非会員参加費を支払う必要がある。

開催時期：獣医神経病学会時（主に6-7月中）および冬期（12-2月頃）を3年間

参加費：学会時は学会参加費に含まれる。冬期は3,000円（予定）。

講習内容（第2ターン目）

	回	プログラム名	開催予定	主な内容（予定）	講師
総論編	1	機能解剖Ⅰ	2018夏・盛岡	脳の機能解剖	中本裕也
	2	機能解剖Ⅱ	2018夏・盛岡	脊髄の機能解剖	中本裕也
	3	機能解剖Ⅲ	2018夏・盛岡	末梢神経の機能解剖	中本裕也
	4	神経学的検査Ⅰ	2019夏・東京	シグナルメント、観察の項目	伊藤大介
	5	神経学的検査Ⅱ	2019夏・東京	姿勢反応・脊髄反射	伊藤大介
	6	神経学的検査Ⅲ	2019夏・東京	脳神経検査・感覚	伊藤大介
	7	神経学的検査Ⅳ	2019夏・東京	局在診断	伊藤大介
	8	脳脊髄液検査	2019冬・東京	採取法と測定項目	枝村一弥
	9	電気生理学的検査	2019冬・東京	各種検査法の説明と適応	金園農一
	10	画像診断	2019冬・東京	各モダリティの説明と適応	長谷川大輔
	11	臨床薬理	2019冬・東京	神経疾患に用いられる各種薬剤の基本的理念	折戸謙介
各論編	12	脳疾患Ⅰ	2020夏・沖縄	代表的な遺伝性・先天性疾患	溝口俊太
	13	脳疾患Ⅱ	2020夏・沖縄	てんかん、脳炎	溝口俊太
	14	脳疾患Ⅲ	2020夏・沖縄	脳腫瘍、血管障害、頭部外傷	溝口俊太
	15	脊髄疾患Ⅰ	2021冬・東京	椎間板関連疾患	未定
	16	脊髄疾患Ⅱ	2021冬・東京	脊椎・脊髄腫瘍、脊髄・脊髄奇形	未定
	17	脊髄疾患Ⅲ	2021冬・東京	脊髄炎、FCE	未定
	18	末梢神経筋Ⅰ	2022夏・未定	代表的な脳神経疾患	未定
	19	末梢神経筋Ⅱ	2022夏・未定	末梢神経腫瘍、外傷、各ニューロパチー	未定
	20	末梢神経筋Ⅲ	2022夏・未定	神経筋接合部疾患、筋疾患	未定

指定参考書（講習は日本語で行われるが、参考書として翻訳書は特に推奨しない）として以下の2冊を挙げる。本講習は基本的にこれらの指定参考書の内容に沿って行われるため、受講者は個人で以下2冊を取りそろえて受講することを推奨する。

- 『Veterinary Neuroanatomy: A Clinical Approach』Christine Thomson, Caroline Hahn 著, SAUNDERS ELSEVIER, 2012（約7,500円）
- 『BSAVA Manual of Canine and Feline Neurology, 4th ed』Simon Platt, Natasha Olby 編著, BSAVA（英国小動物獣医協会）, 2013（約17,000円）